

第4回 統合準備会

日時 令和元年10月21日 午後7時00分

場所 森中学校 ランチルーム

内容

1 開会

2 通学分野について

(1)バス停及び横断歩道の設置について(報告)

(2)バスを利用した通学方法について

(3)通学費補助について

3 購入用品の支給について

4 分野別進捗状況について

教育・PTA・事務・式典 分野別の検討及び状況報告

5 連絡事項 次回統合準備会開催日 12月23日 午後7時00分 泉陽中学校

6 閉会

進行:学校教育課長補佐

発言者	内 容
学校教育課長	8月29日に第3回の統合準備会を開催した。時間が限られた中での検討でしたので今回は改めて通学分野について全体で協議を進めていきたい。その後、購入用品の支給、分野別進捗状況について報告していく。
学校教育課 課長補佐	前回第3回の統合準備会の内容、要点について説明。第2回での意見等の要旨を説明。
企画財政課長	2－(1)バス停及び横断歩道の設置について(報告)について資料を基に説明。横断歩道の設置、バス停の設置、バス停付近の整地について説明。
企画財政課長	2－(2)バスを利用した通学方法について資料の説明。中学校・小学校の先生にダイヤについて一緒に協議検討をした。その結果の資料を担当より説明する。
企画財政課 企画係	田能大久保中野地区のNPO法人やまゆり三倉における一の瀬バス停までの運行経路について、令和2年4月の開始を目指し検討を行っていただいている。大河内線の森林組合前バス停から森中学校入口バス停までの直行部分については行きのみに変更した。 統合後、バス通学の生徒については費用を全額補助又は交付を行う。それ以外に、普段自転車通学で、雨天時や体調が優れないときにバスを利用する生徒及び大河内線を利用する生徒については、費用負担を伴わない回数券を利用できるようにする。 大河内線については、小学校中学校との協議検討の中で直行便として、運行本数が減るよりも、乗り換えがあっても運行本数を確保した方が良いという意見があったため、帰りの直行便を無くして運行本数を確保した。そのため、帰りは秋葉線を利用して、森林組合前バス停で大河内線に乗り換えをする。待ち時間は3～5分程度となる。最終の便については時期に合わせて運行時刻を変更していく。 吉川線については、秋葉線の時刻と併せていくため時間をずらしたところがあるが、最終便については時期に合わせて運行する。 秋葉線については前回と変更無し。 A4の資料の説明 森中学校入口バス停の時刻表となる。

発言者	内 容
学校教育課 課長補佐	2-(3)通学費補助について 森町立天方小学校区、三倉小学校区及び泉陽中学校区児童生徒通学費補助金について説明。 前段の内容は前回の内容と同様。通学距離が6km未満の生徒についてもバス通学をする際は全額補助とする。 今回は現行どおりその他通学生徒の補助については6kmを超える場合については1kmにつき15円に年間授業日数等を乗じて得た額を補助するとなっていたが、統合によって通学距離が伸びるため、自転車通学の生徒においても、天候等の理由により臨時でバスを使う生徒についても、無料でバスを利用できるように変更をした。 自宅から最寄りのバス停留所までの補助については、1km以上と要件を変更したが、田能中野大久保地区の児童生徒のために検討してきたため、NPOやまゆり三倉の運行が実現したら、最寄りのバス停留所までの補助については廃止とする。
森地区町内会長	資料記載の補助又は負担の意味は？
学校教育課 課長補佐	補助については、生徒が一時定期等を購入して、生徒に対して補助金を支払う。負担については、町で定期等を購入して定期等を生徒へ渡すように考えている。
天方小PTA	今回の内容は保護者へ公開しても良いか。
企画財政課長 学校教育課長	バスのダイヤについては多方面からの検討をした結果になるので現状のダイヤ改正でご理解いただき、進みたい。本日の会議を経て、保護者へ説明していただいても良い。 バス利用の実態について調べた中で、臨時でバスを使う生徒についても無料でバスを使ってもらいたい。教育委員会でもより安全に通学をしていただくため、心配なときはバスを使ってもらえるように検討した内容であり、開示しても良い。
天方小PTA	1km15円の補助については、ガソリン代等の負担に対しての補助と理解して良いか。
学校教育課長	従前から補助制度で15円の補助として運用している。 昔からの金額であるため、現在根拠を考えると、県費職員の自家用車を使ったときの手当が15円であったのではと考えている。なお、現在は18円の単価である。
天方小PTA	安いと感じるが、根拠がどのようになっているのか知りたかった。 現状の県職員の手当についても18円だと安いと感じる。
泉陽中学校長	三倉の足がなかったところ、バスを走らせるように動いていただいで感謝している。 各学校の教務主任にも入ってもらいながら、学校の終了時間とバスの時刻についても考えてもらっている。それから、横断歩道、バス停の配慮についても感謝をしている。これまでも様々な意見が出されているため、時間を掛けて検討を重ねていただきたい。今回の案については本当に前に進んだと思われる。
学校教育課長	3 購入用品の支給について 町が支給するもの、現在所有のものを引きつづき使用してもらうものを一覧で説明。この表以外にも学校の教科で使うファイルフォルダ等文房具類についても、洗い出しているところ。 支給する手続きについて説明。時期は年が明けて新入生の説明会等のタイミングと合わせて注文をとりまとめる予定である。
天方小PTA	支給のタイミングは、新1年生と同じタイミングでやるのか。新1年生は森中で保護者説明会をすると思うが、現1・2年生は泉陽中学校で行うのか。
学校教育課長	参観会等、保護者が集まる際に説明会を開催していきたい。統合準備会第4回を12月に予定しているため、その後の早い時期に予定をしていきたい。
森中学校教諭 泉陽中学校教諭	部活動のユニフォームについての支給は考えられるのか。 野球部の新ユニフォームについても考えられるのか。
学校教育課長	他にも準備するものがあれば提案していただき、引きつづき検討していく。
学校教育課 課長補佐	次に(4)分野別進捗状況について説明をする。

発言者	内 容
森中学校校長	教育分野の内容について説明 前回会議から2ヶ月なので報告は特にないが、10月31日にときわ祭を予定している。9月からスタートをしている。 生徒会が中心となって準備に真剣に取り組んでいる。学級での合唱練習についてはアイドリングの時間が必要であるが、今年は初日からいい声を響かせていた。全員集会で男子生徒が統合の時には現3年生は居ないが、統合に向けて力を合わせていくこの場所にいられて幸せ。と発言があった。10月31日は一般の方も13:30から鑑賞できる。
森中学校教頭	PTA分野について説明。副会長については男女問わず泉陽中学校から1名選出するように話し合っている。運営委員地区委員は天方地区、三倉地区の委員を選出を進めている。この時期は候補として扱っている。
泉陽中学校教頭	事務分野内容について説明。引越し業者が決まった。見積もりを出してもらっているところ。 12月25日26日に第1陣を移動する。
泉陽中学校教諭	式典分野内容について説明。記念誌作成について業者打ち合わせを行った。記念誌に卒業生の方から閉校に当たっての寄稿を募集している。ホームページで募集している。学校だよりでも募集している。
森中学校PTA	一緒にやっているので泉陽中PTA会長は本日欠席であるが、資料を渡して意見等あるかもしれないので聞き取りをしてもらいたい。
森小学校PTA	記念誌を図書室に置いてほしい。出身生徒が森中で他の生徒に紹介することが出来る。
泉陽中学校長	体育館維持管理基金を使って記念誌、閉校式など、閉校の行事を行わせてもらっている。予定は1,000部で、泉陽中学校学区各戸、生徒、その他と配布する。 残りもあると思うので、是非森中学校図書室にも置いてもらえるのであればうれしい。
学校教育課 課長補佐	連絡事項 次回は12月23日月曜日泉陽中学校で開催。以上閉会。